

令和7年度 第4回浄水地域会議 会議録

■ 日 時 令和7年8月6日（水） 午後7時 ～ 8時

■ 場 所 浄水交流館 大会議室

■ 出席者

＜委 員＞	石川 須美子	内迫 貴光	勝野 房則	加藤 耕助
	桑原 正明	佐竹 修	土田 洋	長江 光一
	成瀬 博文	野畑 安浩		

＜事務局＞ 杉浦 智文（地域交流課 課長） 吉村 直樹（地域交流課 担当長）
渡邊 洋一（地域交流課 主任主査）

■ 内 容 「移動支援に関する今後の進め方の整理」

- ・伊保原自治区での実施報告（選挙移動支援バスの利用状況等）
- ・地域包括支援センターヒアリング内容の共有
- ・移動支援の方向性の整理（伊保原自治区からの提案）
- ・自治区役員と地域会議の役割整理

■ 議事内容（要約）

＜伊保原自治区での実施報告＞

- ・選挙時の移動支援バスは、計18名の利用があり、一定のニーズが確認された。

＜地域包括支援センターへのヒアリング内容の共有＞

- ・買い物の場面では「自分で選ぶ楽しみがほしい」
- ・地域参加の場面では「区民会館等のサロンに行きたい気持ちはあるが、移動が困難」
- ・福祉サービスで案内できる範囲には限度があり、地域バスの再開を望む声がある

＜移動支援の方向性の整理＞

- ・最大の課題はドライバーの確保。特に平日・日中の移動ニーズが高い一方で、予定が合う人材は限られると考えられる。
- ・乗降時に介護的な支援が必要なケースがあり、ドライバーの負担が懸念される。
- ・ボランティアを前提とした運営では続かないので、有償サービスとしてマッチングできるしくみが必要ではないか。
- ・伊保原自治区の中でも、居住地や生活状況によって必要な支援の形は異なると考えられる。
- ・自治区の中での具体的なニーズを集約するとともに、直接的な移動の支援だけでなく、自分でできることや移動手段の選択肢を知ってもらう取組も大切ではないか。

＜自治区役員と地域会議の役割整理＞

- ・今後の進め方としては、伊保原自治区の役員を中心に、自治区内での意見集約と共助交通のしくみの設計を進める。地域会議は、自治区内での説明の場での橋渡しを行いながら、広域的な議論を継続していく。
- ・他地域での展開も視野に入れた移動の可能性や選択肢を広げる取組として、伊保原自治区行事の中で、シニアカー体験やポールウォーキング体験の企画検討を進める。

■ 今後の予定

令和7年度第5回浄水地域会議

令和7年10月8日（水）午後7時～ 浄水交流館大会議室にて

（※9月10日（水）は休会）